

情報収集の達人になろう！

～ほしい資料を手に入れよう～

豆知識シリーズ5では、ほしい資料(図書・雑誌論文・新聞記事)を的確に見つけるための手段を紹介しました。

豆知識シリーズ6では、探し出した資料を見つけ、迅速に入手するまでを

達人への道

Step 0: 事項調査: ことばについて調査!



Step 1: 文献探索: データベースを利用して調査!



Step 2: 所蔵調査: どこにあるのか調査!



Step 3: 資料収集: 資料を手に入れよう!

- 1: 本学にある場合
- 2: 本学にない場合



所蔵調査は、情報収集の基本中の基本!

**所蔵調査が上手に出来るかどうか、
迅速に資料を入手できるかどうかの分かれ道!!**

好奇心旺盛な
あらいぐま博士



あらいぐま博士の豆知識シリーズ 6

Step 2: 所蔵調査: どこにあるのか調査!

せっかく見つけたほしい資料。手に入れるためには、どこが持っているのか確認が必要!!

どのように確認したらよいか、見ていこう!

まず

- 1 本学図書館にあるかどうか確認する
本学所蔵目録(OPAC)で検索

<https://library.h-bunkyo.ac.jp/mylimedio/search/search-input.do?mode=comp&nqid=1>

= 図書 =

No.	予約人数	刷年	所在	棚番	請求記号	資料ID	貸出区分	状況	備考
1	0		3F 一般 図書		010.8 To72 14	0197490	一般		

所蔵をしっかりと確認!
請求記号・所在・資料IDをメモし、
状況欄を確認しよう!

= 雑誌 =
図書館雑誌
雑誌の所蔵

No.	所蔵巻号	所在	所蔵年	受入継続	備考
1	63(2),65(4-11),66(1-10,12),67-114+	1F 資料室	1969-2020	継続中	雑誌の所蔵は巻号をよく見てね! この雑誌の場合、67巻からは全てあるけど、63~66巻は欠号があり、 所蔵していない巻があるよ!
2	115-117,118(1-6)+	2F 雑誌新聞コーナー	2021-2024	継続中	

図書館にあれば、すぐに利用できるぞ!!

OPAC (蔵書検索) の達人になろう!



Hiroshima Bunkyo University Library 2008年/2015年改訂

論文記事が見ることができるかも…

- ・「CiNii Articles」(NII) (一部学内限定)

日本の学術論文を中心とした論文情報を提供。論文の検索は誰でも利用できます。本文が公開されている論文もあります。抄録や引用情報の参照、本文公開の一部は、有料のため、学内からアクセスしてください。

(図書館HPから利用できます。)

- ・機関リポジトリ (図書館HPからご利用ください)

機関リポジトリとは、機関内で生産された研究成果としての学術論文や学術資料を保存し、インターネットを通して発信する仕組みのことです。

主に大規模大学が、研究論文を中心に電子化し、Web公開を行なっています。そのため、研究紀要に掲載されている論文が電子化されていることが多いのです。

研究紀要は、こちらもチェックしてみよう！

Step 3：資料収集：資料を手に入れよう！

1：本学にある場合

- ・まず、正確にメモしよう！

図書の場合、著者名、書名、出版社、出版年、版表示、叢書名など
雑誌の場合、著者(執筆者)名、論文名、掲載ページ、雑誌名、巻号、出版社、出版年
新聞の場合、紙名、年月日、朝刊・夕刊、記事のタイトル、ページ(面)、版(東京版など)

上のようなメモに、OPACで検索した排架場所や請求記号をきちんと記入しよう！

見つけてきたら…

- ・閲覧…図書、雑誌、新聞
- ・貸出…図書(参考図書、貴重資料等を除く)
- ・複写…図書、雑誌、新聞

必要に応じて使い分けよう！！

あっという間に、入手完了！！

図書、雑誌、新聞などを論文、レポートに引用したり、参照したりした場合、必ず出典を明記しなくてはなりません。わからなくなならないように、書誌情報をしっかりメモしておこう！

2：本学にない場合

- 1) 他の図書館を利用する

★ 自分で直接来館する
広島県内の図書館は、原則学生証の提示で利用できます。
そのほかの図書館は、紹介状を作成しますので、カウンターまで。

※ 事前に連絡を入れよう！

「行ってみただけど、資料が貸出中で利用できない」などなど、
そのような悲しいことにならないように、事前に電話をしておこう！
電話の際は、大学名、名前、図書館資料名(〇〇雑誌 〇号など)、
利用希望日時、利用に必要なものがあるかどうかを確認、細かい日時を
約束した時は、迷惑をかけないように遅れないように行こう。

近隣の大学が所蔵しているかどうかは、「CiNii Books」で確認できます。
<http://ci.nii.ac.jp/books/> (図書館HPから)

- ★★ 相互協力サービスを利用する

文献複写…コピーを依頼して、取り寄せが出来ます。(複写料金など実費負担)
貸借…雑誌・貴重本以外の借用ができます。(送料など実費負担)

相互協力を上手に利用するために…

- ・ **本学図書館にないかももう一度確認！**
所蔵があった場合、時間のロスに
- ・ **本当に必要なものがチェック**
頼みすぎると、読む時間が取れない…
実費負担のため、経済的な負担が…
- ・ **優先順位の高いもの(5件以内ぐらい)から頼む！**
たくさん届いてもいいけど、どれから読んだらいいのか…

- 2) 自分で購入する

書店で入手する

和書の場合、「Book.or.jp」で現在、入手可能かどうか確認し、書店へ依頼。

インターネットショッピングで購入する。

「Amazon」や各書店のHPなど。

古本で購入する

ほしい資料は、手に入ったかな？

みんなも情報収集の達人を目指して、がんばれ！！

